

釣れ釣れなるままに

1987年思い出の釣行記

1987年 鹿島釣狂

☆釣行日	昭和62年5月23日～24日		
☆入釣場所	花岡 湯泊覆道前		
☆潮	干潮	19:37	9cm
	満潮	02:07	20cm
	干潮	08:04	14cm
☆釣果	川ガレイ		1
	砂ガレイ		3
	ホッケ	35cm	1
	アブラコ	30cm	1
	ガヤ		1
	カジカ		1

花岡旧トンネル出口

久しぶりの留萌海岸である。時期的に少し早いと思うが砂場でのカレイ釣りをしたくて出かける。縄ばしごがありそこから砂浜に下りる。すぐその前で竿を出すのがさっぱり。左に二人の釣り人がいたがさっぱり。後から右50m程のところに入った人がよく釣れていた。ここを諦めて雄冬に向かう。

砂ガレイ 3 川ガレイ 1

湯泊覆道前

留萌から様子を見ながらと思いながら雄冬に向かったが暗くなってしまった。22:00頃覆道が切れた防潮堤に釣り人がいたので様子を伺うと型のよいカジカ30cm、クロガシラ30cm、アブラコ30cmを各1匹ずつ釣っていたので、その左側に荷を下ろす。

テトラの少し低くなったところから竿を出す。アタリはあるものの根に潜られてなかなか釣りあげることが出来ない。隣の人が引き上げて代わりに留萌からの釣り人が入った。バ

スの運転手をしており、いつもはホッケやクロガシラを狙っているという。仕掛を作りながら話しをしてくれた。

3：00頃、ホッケ35cmが釣れる。続けてウグイやチビカジカ、アブラコと釣れたが、4：00以降は全く釣れなくなった。

ホッケ35cm1、アブラコ30cm1、ガヤ1、カジカ1、ウグイ

☆釣行日	昭和62年6月13日～14日
☆入釣場所	湯泊岬
☆潮	大潮 干潮 23：44
☆天気	弱い北風 潮は右から左へ（あまりよくない） 波は1m
☆エサ	イソメ1、イワムシ1、イカゴロ20、サンマ6
☆釣果	タコ 1
	アブラコ 1
	ガヤ 多数

湯泊岬の大ダコに乾杯

「6月は雄冬海岸でハチガラにチャレンジ」（「北海道の釣り」福田氏）の記事を読み入釣先は湯泊岬と決定する。先日も下見をしてきている。仕事が終わるすぐにもと思うが、午後から子ども会リーダー講習会、夕方には息子の剣道とも重なり、結局20：30に出発することになった。

22：30 到着。荷物やクーラー等を全部担いでゆっくりと歩く。（下り口の斜路に注意すべし。滑る。）途中何度もバランスを崩しそうになりながらも先端へと向かう。先端左の岩場に釣り人がいてアブラコやガヤなどを釣っていた。先端右の出岬で荷を下ろし釣り始める。

まずはアブラコ30cm弱がイカゴロ仕掛に来て、ウキ釣りでガヤが釣れ続いた。薄明るくなってきた4：00頃、遠投した竿の道糸が左から右へと少しずつずれていく。引き込むというわけでもなく15度くらい移動したところで大きくアワセを入れる。ズシリとした手応えでリールを巻くが重くてなかなか寄ってこない。潜られては大変と慎重にポンピングを繰り返しながら引き寄せていると見たこともない大ダコがフワリと浮き上がった。隣の釣り人に助けを求めるとすぐにギャフを持ってきて引き上げてくれた。

10kgはあろうと思われる大ダコである。クーラーに入るものでもなく、道具を入れておく大きな布袋に入れた。ギャフを持ってきてくれた助っ人に心からお礼を言って、タコの足1本を根元から切って進呈した。

帰りは釣り道具と重たい獲物とを2回に分けて運んだが、気持ちの方はルンルン気分で帰途についた。

☆釣行日	昭和62年7月11日～12日		
☆入釣場所	湯泊岬 岩老漁港		
☆天気	波が高くて釣りにならない		
☆釣果	ガヤ	1	
	カジカ	1	
	ツブ	10	

時折強いアタリはあるものの途中で根掛かりさせてしまう。3:00に帰宅。ツブの釣り方は内緒。

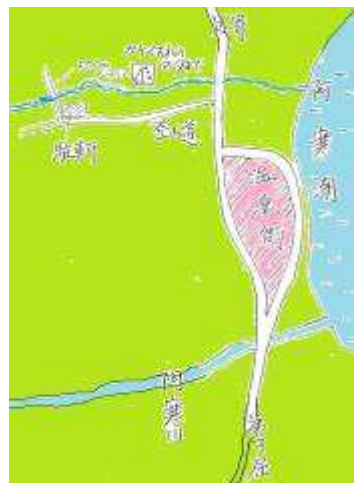
☆釣行日	昭和62年8月4日		
☆入釣場所	阿寒湖畔 道路沿いの川(鹹ウグイ川?)		
☆釣果	ニジマス20cm弱	9	
	アメマス新子	4	

溪流釣り

家族旅行で屈斜路湖(キャンプ)阿寒湖(ホテル)へ行く。阿寒川では是非ニジマスの大物を狙ってみたいと溪流用の道具を忍ばせておく。

阿寒湖では午後には釣りの許可を得たので、ホテルにつき次第阿寒川に向かう。かし、阿寒川は大きすぎてどこを攻めたらよいか分からないので阿寒湖に注ぐ小川にした。

雄阿寒岳への登山道を上っていくと、駐車可能な場所があったので、そこに車を止めて釣り下っていった。藪の中の小川なので提灯釣りになる。釣れることはないだろうと半ば諦めながら釣り下っていくと、急な流れの中で突然ニジマスが釣れた。丁寧に岩陰を探りながら下っていくと、ここはと思われるポイントでは1匹ずつニジマスがでた。小さなアタリはアメマスの新子だった。わずか1時間ほどの釣りだったが、久しぶりに溪流釣りを楽しんだ。



☆釣行日	昭和62年10月17日・18日		
☆入釣場所	湯泊岬		
☆潮	干潮	17:04	11cm
	満潮	03:07	24cm
☆天気	台風の後 波2m→1m 天気はよい		
☆釣果	カジカ	37cm	1
	ソイ	26cm以下	5

ガヤ 24 cm以下 4

ウグイ

カジカ

15:00、湯泊岬へと向かった。前日は北海道に台風が上陸して大荒れの状態だったが、本日の午後からは風も治まりよい釣り日和になりそうだ。

17:00に到着したが辺りは真っ暗で、ギョギョライトを付けてアタリを待った。ウキ釣りに、ほんとにたまにガヤやソイが釣れるが投げ釣りには全く来ない。

21:00頃、小さなアタリがブルブルときた。すかさず合わせると重い。ただ重いだけでジワーと寄ってくる。タモが必要かと思うが一気に抜きあげた。カジカ37cmが釣れた。カジカのデッキリ感はないが初めての大型カジカである。しかし、その後はアタリもとまり見込みがなさそうなので、夜を徹しての釣りはやめにした。

23:30には竿を片付け帰途につく。正解だった。朝方は大雨になっていた。





☆釣行日 昭和62年11月〇〇日
☆入釣場所 湯泊岬
☆釣果 カジカ 2

ソイ 2

ガヤ 2

